

府省名	総務省	部署名	行政管理局
取組のポイント			
<p>オフィス改革やペーパーレス化など、自ら取り組んだ「働き方改革」の経験や知見をいかし、局外の組織に対しコンサルティングを実施。若手職員を積極的に活用することで、将来の「働き方改革」の中核人材も育成。</p>			
取組概要			
<p>オフィス改革やペーパーレス化、管理職員の意識改革などのマネジメント改革を通じた「働き方改革」を先進的に推進したことで集積された知見をいかし、民間企業や地方自治体など、府省の枠を超えて、オフィス改革のノウハウをコンサルティング。</p> <p>【各府省、民間企業、地方自治体等へのコンサルティング】 全国の自治体、民間企業等を対象に、コンサルタント、アドバイザー業務や講演活動を継続的に実施（視察者は累計2,000人超）。</p> <p>【職員の意識改革、若手職員の人材育成】 場(オフィス)の改革のみならず、局内若手の「働き方改革実行チーム」において改革のための具体策を検討・提言。「働き方改革」のコンサル対応等には、若手職員を積極的に登用するなど、将来の霞が関の「働き方改革」のリーダーとなり得る人材を育成。</p> <p>【管理職のマネジメント改革】 案件の初動段階や方針検討段階で、局幹部と方向付けの議論を重ね、あらかじめ方針を共有するなど、手戻りの少ない環境を醸成し、業務全体の効率化を実現。</p> <p>【「シームレス」な職場を実現するための先導的な取組】 外出時の業務デバイスの使用基準やテレワーク実施規程の見直し、サテライトワークの解禁等、「シームレス」な(継ぎ目のない)業務環境を省全体に提案。</p>			
			
地方自治体とのディスカッション		職員による講演風景	
講評			
<p>「働き方改革」のノウハウを、他府省や民間企業に提供するだけでなく、若手の育成に活用している点を評価。幹部とのコンセンサスを取ってから作業を開始し「手戻り」を少なくする取組は、官庁の「働き方改革」の推進上、重要。</p>			